



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要			
建物名称	(仮称)熱海四合院リゾートホテル プロジェクト 新築工事	BEE	1.1 BEEランク B+ ★★★

2. 重点項目への取組み度			
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.6 /5		ふつつ
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.0 /5		ふつつ
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.0 /5		ふつつ
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.4 /5		がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	
		よい 4点以上	ふつつ 3点以上
			がんばろう 3点未満

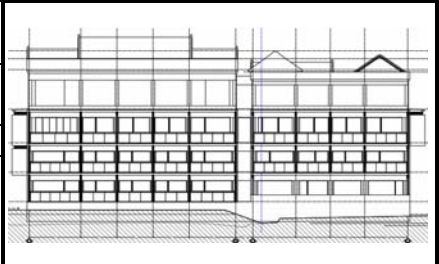
3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。		得点	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)		3.6	
<p>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)</p> <p>④躯体材料の耐用年数はRC造のため耐用年数長い。</p> <p>④外壁仕上げ材の補修必要間隔ではタイル貼を使用しているため耐用年数長い。</p> <p>④主要内装仕上げ材の更新必要間隔では内装仕上げ材の耐用年数長い材料を使用している。</p> <p>④空調・給排水配管の更新必要間隔では給排水配管の耐用年数長い材料を使用している。</p>	Q-1 2 2.1 2.1.2 ①	外皮性能	
	Q-1 3 3.1 3.1.3 ②	昼光利用設備	
	3.2 3.2.1 ③	昼光制御	
	Q-2 2 2.2 2.2.1 ④	躯体材料の耐用年数	
	2.2.2 ④	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
2.2.3 ④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		
2.2.4 ④	空調換気ダクトの更新必要間隔		
2.2.5 ④	空調・給排水配管の更新必要間隔		
2.2.6 ④	主要設備機器の更新必要間隔		
<p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)</p> <p>特になし。</p>	Q-3 1 ⑤	生物環境の保全と創出	
	3 3.2 ⑥	敷地内温熱環境の向上	
<p>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)</p> <p>⑦断熱性が高い材料を使用している。</p> <p>⑨LED照明の採用。</p>	LR-1 1 ⑦	建物外皮の熱負荷抑制	
	2 ⑧	自然エネルギー利用	
	3 ⑨	設備システムの高効率化	
	4 4.1 ⑩	モニタリング	
	4.2 ⑩	運用管理体制	
<p>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)</p> <p>⑪節水型便器を使用している。</p> <p>⑬断熱材はODP=0.01未満かつ、GWPが低い発泡剤を使用している。</p>	LR-2 1 1.1 ⑪	節水	
	1.2 1.2.1 ⑪	雨水利用システム導入の有無	
	1.2.2 ⑪	雑排水等利用システム導入の有無	
	2 2.1 2.1.1 ⑫	材料使用量の削減	
	2.1.2 ⑫	既存建築躯体等の継続使用	
	2.1.3 ⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用	
	2.1.4 ⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
	2.1.5 ⑫	持続可能な森林から産出された木材	
	2.1.6 ⑫	部材の再利用可能性向上への取組み	
	3 3.1 ⑬	有害物質を含まない材料の使用	
	3.2 3.2.1 ⑬	消火剤	
	3.2.2 ⑬	断熱材	
	3.2.3 ⑬	冷媒	
<p>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)</p> <p>⑭ライフサイクルCO2排出率77%</p>	LR-3 1 ⑭	地球温暖化への配慮	
	2 2.2 ⑮	温熱環境悪化の改善	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)		3.0	
<p>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)</p> <p>特になし。</p>	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯	耐震性	
	2.1.2 ⑯	免震・制振性能	
	2.4 2.4.1 ⑰	空調・換気設備	
	2.4.2 ⑰	給排水・衛生設備	
	2.4.3 ⑰	電気設備	
	2.4.4 ⑰	機械・配管支持方法	
	2.4.5 ⑰	通信・情報設備	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)		3.0	
<p>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)</p> <p>特になし。</p>	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画	
	3 3.1 3.1.1 ⑲	階高のゆとり	
	3.1.2 ⑲	空間の形状・自由さ	
<p>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)</p> <p>特になし。</p>	Q-3 3 3.1 ㉑	地域性への配慮、快適性の向上	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)		2.4	
<p>■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/㉓敷地内温熱環境の向上)</p> <p>特になし。</p>	Q-3 1 ⑳	生物環境の保全と創出	
	2 ㉒	まちなみ景観への配慮	
	3 3.2 ㉓	敷地内温熱環境の向上	
<p>■敷地外環境対策 (㉔温熱環境悪化の改善)</p> <p>特になし。</p>	LR-3 2 2.2 ㉔	温熱環境悪化の改善	

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)熱海四合院リゾートホテル	階数	地上3F、地下1F
建設地	静岡県熱海市梅園町1192-7番地	構造	RC造
用途地域	第2種中高層住居、防火地域指定なし	平均居住人員	40人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年6月 予定	評価の実施日	2019年8月7日
敷地面積	3,421㎡	作成者	安藤 俊宏
建築面積	1,572㎡	確認日	2019年8月8日
延床面積	4,307㎡	確認者	曹 亦然



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	断熱性が高い材料を使用している。また、主要内装仕上げ材や給排水配管は耐用年数長い材料を使用している。CASBEE 静岡 2016年版による評価結果である。	その他 特になし。
Q1 室内環境	遮音性能が高い建具を使用している。	Q2 サービス性能 主要内装仕上げ材や給排水配管は耐用年数長い材料を使用している。
LR1 エネルギー	断熱性が高い材料を使用している。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
	LR2 資源・マテリアル 節水型便器を使用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率77%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい